

公益財団法人マツダ財団 平成 31(2019)年度 事業計画 (平成 31 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで)

マツダ財団の設立趣旨に沿った社会貢献活動を行い、マツダ財団の存在価値を高める。

「19 中期事業計画」に沿った事業変革を着実に進める。

当事業年度は、これまでの歴史・実績を踏まえて、既存助成事業の改革を着実に進め、先進的・個性的な事業を提供し続けることによって、「存在感のある財団」を目指す。

事業費総額は、超低金利の続く厳しい資金環境下、対前年度予算 29 万円増の 6,561 万円とする。

．科学技術振興関係事業

1．研究助成

<マツダ研究助成>

先進性・独創性に優れた基礎研究および応用研究に対し助成を行う。また、若手研究者、萌芽的研究、循環・省資源への重点助成とする。

(1) 助成対象研究分野	機械	電子・情報	化学系材料	物理系材料
(2) 助成金総額・件数	3,100 万円、31 件			
(3) 1 件当たり助成金額	100 万円			
(4) 助成期間	1 年または 2 年			
(5) 募集方法・募集期間	公募、2019 年 4 月中旬～同年 5 月 31 日			
(6) 選考方法	選考委員会による審査・選考			

<マツダ研究助成奨励賞>

マツダ研究助成対象の中から特に優れた研究に対して授与する。

(1) 副賞(追加助成金)	50 万円/件
(2) 助成金総額・件数	200 万円、4 件

2．事業助成

「科学わくわくプロジェクト」の趣旨に沿った科学体験事業への助成を行う。

(1) 助成対象分野	中国地方で開催される小中高の生徒を対象とした「科学体験」に関する事業・研究会等を支援する。
(2) 助成対象地域	中国地方
(3) 助成金総額・件数	200 万円、10～15 件程度
(4) 1 件当たり支援金額	10～20 万円
(5) 募集方法・募集期間	公募、2019 年 4 月上旬～同年 5 月 6 日
(6) 選考方法	選考委員会による審査・選考

3. 科学わくわくプロジェクト

子供たちに学ぶことの面白さ、考えることの楽しさを感じる機会を提供することにより、科学する心を育てることを目的として、以下の事業を実施する。

(1) 「サイエンスレクチャー」

中学生・高校生を対象としたハイレベルな内容の「出前講義」。

- ・実施時期：2019年9月以降
- ・実施場所：要請のある中・高等学校(広島市教育委員会との連携、4～5校)

(2) 「小学校理科ひろば」

小学校の教員を対象とした授業作りの支援を行う「出前・示範授業」

- ・実施時期：2019年9月以降
- ・実施場所：要請のある小学校(広島市教育委員会との連携、30校程度)

(3) 「ジュニア科学塾」

中学生を対象とした科学に関する幅広い内容を発展的、継続的に学習する演習講座。

- ・実施時期：2019年5月以降
- ・実施場所：広島大学、比治山大学、他(講座内容により変更)

(4) 広報活動の充実

- ・内容：ホームページ新規立上げ並び運営、他

(5) 予算総額：100万円

4. 調査研究

- ・研究助成・事業助成について、応募者アンケート調査・分析および有識者ヒアリング調査。
- ・予算額 30万円

5. 経費 541万円

科学技術振興関係事業費 計 4,171万円

．青少年健全育成関係事業

1．研究助成

「青少年の健全育成」に係る市民活動の活性化に役立つ実践的な研究を対象とする。終了時に、広島で成果報告会を実施し、市民活動との連携強化を図る。

(1) 助成対象分野

- ・ボランティア育成
- ・青少年の居場所づくり
- ・自然とのふれあい
- ・科学体験・ものづくり
- ・災害復興・災害対策に関する活動
- ・地域連帯、コミュニティづくり
- ・国際交流・協力

- (2) 助成金総額・件数 **400万円、5～6件程度**
- (3) 助成期間 1年または2年
- (4) 募集方法・募集期間 公募、2019年4月下旬～同年6月中旬
- (5) 選考方法 選考委員会による審査・選考

2．市民活動支援

青少年健全育成のための地域に密着した活動を支援する。資金助成に加え、情報、ノウハウ、人、設備支援等総合支援活動を行う。支援団体の活動を理解し支援するために、各団体の活動を財団員が視察する。

(1) 助成対象分野

- ・ボランティア育成
- ・青少年の居場所づくり
- ・自然とのふれあい
- ・科学体験・ものづくり
- ・災害復興・災害対策に関する活動
- ・地域連帯、コミュニティづくり
- ・国際交流・協力

- (2) 支援対象地域 広島県、山口県
- (3) 支援金総額・件数 **800万円、30件程度**
- (4) 1件当たり支援金額 10～50万円
- (5) 支援期間 1年
- (6) 募集方法・募集期間 公募、2018年10月15日～2019年1月14日
- (7) 選考方法 選考委員会による審査・選考

3．感動塾・みちくさ

子どもたちが自然に触れ、体験や実験などを通じて、科学に対する興味を深め、自分たちで創意工夫することにより科学を学ぶ心を養うことを目的に、3施設で実施する。

- (1) 共同事業 (公財)広島市文化財団との共催
- (2) 支援・人数 広島市およびその周辺在住の小学校3年～6年・約150人
- (3) 期間 2019年8月～9月 2泊3日
- (4) 場所 (公財)広島市文化財団の青少年活動施設
 - ・広島市青少年野外活動センター
 - ・広島市三滝少年自然の家

- ・広島市似島臨海少年自然の家
- (5) 募集方法 公募(応募多数の場合は抽選)
- (6) マツダ財団支援額 130万円

4. スタートラインプロジェクト

NPO法人ピピオ子どもセンターと連携して、被虐待児等の自立を支援する事業として、以下の3プログラムを実施する。

(1) 被虐待児等の成長を支援するプログラム

- ・被害回復 癒しのプログラムとの連携、カウンセリングの充実
- ・生活習慣の改善 日記実践、コミュニケーション能力の向上
- ・自己肯定感の涵養 座学(家庭教師)
体験を通じた「学習」の支援(スポーツ大会、音楽活動、野外活動、マナー講座、企業体験等)
- ・自立への準備 就職活動、資格取得等
退所後の生活を意識した学習、スキルトレーニング(インターネットリテラシー講座、薬物被害学習、ソーシャルスキルトレーニングなど)

(2) スタッフの能力開発を支援するプログラム

- ・講座・セミナー・研究会等の開催(一般にも開放)
- ・スタッフ人材育成モデルの研究、スタッフ間のコミュニケーションの活性化
- ・他機関の視察、他機関のスタッフとの交流

(3) その他(活動基盤の充実)

- ・広報活動の充実 ちらし、パンフレット、報告書等の作成、広報誌・ホームページの充実
- ・普及活動 調査・分析、活動結果の体系的整理等を通じて、知見の普及・社会還元を図る。

(4) 予算総額 100万円

5. 若者×ツナグバ

参画する団体と連携し、「社会人になる直前」「社会に出て間がない」若者に対して、「対話」「表現活動」「居場所づくり」等の活動を推進する。そして、若者が、自分の納得できる生き方を見つけ、その潜在能力を高め、人生の選択肢を増やし、希望につなげていくことを目的とする事業。

(1) ほしはら山のがっこう(三次市)

- ・スローガン : 「ふるさとを100年後の未来につなごう！」
- ・活動 : 三次市ツナグバカフェの開催、大人の林間学校開催

(2) 三次おやこ劇場(三次市)

- ・スローガン : 「Folks Tea Booth 自分の手で居場所をつくろう！」
- ・活動 : 石窯カフェをオープン

(3) 志楽蝶(安芸郡府中町)

- ・スローガン : 「府中町に若い風を」
- ・活動 : 府中町の祭りの企画・運営

(4) 予算総額 150万円

6. 講演会

青少年健全育成の啓発を目的とする講演会を開催する。

- (1) 開催場所 広島市内のホール <予定>
- (2) 開催時期 2019年11月 <予定>
- (3) 講師・演題 未定
- (4) 募集方法 公募(応募多数の場合は抽選)
- (5) 予算額 250万円

7. 大学寄付講義等

地域の大学に対する寄付講義を実施し、学生に対して、「ボランティア」の意義や現状を講義することで、社会貢献・地域貢献への目を開かせることを目的とする。

- (1) 対象・方法 広島女学院大学(単位互換科目) 集中講義 + ボランティア実践
- (2) 実施時期 2019年5月～9月
- (3) 本財団の役割 講義内容の企画・立案
講師団の編成、派遣
レポートの評価
諸経費の負担
- (4) 予算額 20万円

* 以上の他、広島大学大学院「コミュニケーション能力開発(ディベート演習)」、
県立広島大学「キャリアビジョン」へ講師派遣を行う。

8. 調査・研究

- (1) 広島県・山口県におけるNPOや市民活動団体の実態(活動状況、課題、ニーズ等)を調査する。
- (2) 予算額 50万円

9. 諸経費 490万円

青少年健全育成関係事業費 計 2,390万円